

703. 劇症肝炎臨床調査個人票（更新）

- ※ 劇症肝炎の医療受給者証の有効期間は、その病態に鑑み原則として6か月としています。
6か月後においても認定基準に照らして継続している状態にあると認められる場合のみ、有効期間の更新申請をしてください。
なお、当該疾患での更新申請ができない場合であっても難治性肝炎での申請（新規申請）が可能な場合があります。

○留意事項

- （1）原則として1か月以内の資料に基づき記入してください。
- （2）特に指定がないものについては、必須項目となっています。該当する欄に記入又は○で囲んでください。
- （3）フィルム等の資料添付の指示がある場合は、必ず添付してください。
- （4）必要な場合は医師の意見書を添付してください。

※以上の事項が守られていないときは、審査が不可となるため、申請を却下する場合があります。

703. 劇症肝炎の認定基準

1 主要項目

- (1) 劇症肝炎とは肝炎のうち初発症状出現後8週間以内に高度の肝機能異常に基づいて肝性昏睡Ⅱ度以上の脳症をきたし、プロトロンビン時間40%以下を示すものとする。
- (2) 肝性脳症の昏睡度分類は犬山分類(1972年)に基づく。(表1)

2 参考所見

- (1) 症状の出現後10日以内に脳症が発現する急性型と、11日以降に発現する亜急性型がある。
- (2) 成因分類は「難治性の肝疾患に関する研究班」の指針(2002年)に基づく。(表2)

表1：肝性脳症の昏睡度分類

肝性脳症の昏睡度分類(犬山分類：1972年)		
昏睡度	精神症状	参考事項
I	睡眠・覚醒リズムの逆転。多幸気分、ときに抑うつ状態。だらしなく、気にとめない態度。	retrospectiveにしか判定できない場合も多い
II	指南力(とき・場所)障害、物を取り違える(confusion)。異常行動(例：お金をまく、化粧品をゴミ箱に捨てるなど)。時に傾眠状態(普通の呼びかけで開眼し、会話ができる)。無礼な言動があったりするが、医師の指示には従う態度をみせる。	興奮状態がない 尿、便失禁がない 羽ばたき振戦あり
III	しばしば興奮状態、せん妄状態を伴い、反抗的態度をみせる。嗜眠状態(ほとんど眠っている)。外的刺激で開眼しうるが、医師の指示には従わない、又は従えない(簡単な命令には応じる)。	羽ばたき振戦あり 指南力障害は高度
IV	昏睡(完全な意識の消失)。痛み刺激に反応する	刺激に対して、払いのける動作、顔をしかめる
V	深昏睡、痛み刺激に反応しない	

表2：劇症肝炎の成因分類

I. ウイルス性
1) A型 IgM-HA 抗体陽性
2) B型 HBs 抗原、IgM-HBc 抗体、HBV-DNA の何れかが陽性
・ 急性感染：肝炎発症前に HBs 抗原陰性が判明している症例
・ 急性感染(疑)：肝炎発症前後のウイルス指標は不明であるが、IgM-HBc 抗体が陽性かつ HBc 抗体が低力価(血清 200 倍希釈での測定が可能な場合は 80%未満)のいずれかを満たす症例
・ キャリア：肝炎発症前から HBs 抗原陽性が判明している症例
・ キャリア(疑)：肝炎発症前後のウイルス指標は不明であるが、IgM-HBc 抗体が陰性ないし HBc 抗体が高力価(血清 200 倍希釈での測定が可能な場合は 95%以上)のいずれかを満たす症例
・ 判定不能：B型で上記の何れも満たさない症例
3) C型 肝炎発症前は HCV 抗体陰性で、経過週に HCV 抗体ないし HCV-RNA が陽性化した症例あるいは肝炎発症前の HCV 抗体は測定されていないが、HCV コア抗体が低力価で、HCV-RNA が陽性の症例
4) E型 HEV-RNA 陽性
5) その他(TTV、EVB など)
II. 自己免疫性
1) 確診 AIH 基準を満たす症例又はステロイドで改善し、減量、中止後に再燃した症例
2) 疑診 抗核抗体陽性又は IgG 2,000mg/dl でウイルス性、薬物性の否定された症例
III. 薬物性 臨床経過または D-LST より薬物が特定された症例
IV. 成因不明 十分な検査が実施されているが、I～IIIのいずれにも属さない症例
V. 分類不能 十分な検査が実施されていない症例

特定疾患医療受給者証有効期間更新申請書

受給者番号		保健所記入欄 →	保健所	コード
受給者氏名			自己負担限度区分	A - 8

申請者	氏名	対象患者との続柄		
	住所	(〒 -) (電話 - -)		
生計中心者氏名		対象患者との続柄	患者と同一生計内で受給者証の交付を受けている者	有・無
受給者証の記載事項 (住所・氏名・保険の種類等) の変更 → 有・無 ※変更有りの場合は変更届を添付のこと				

北海道知事 様
 特定疾患医療受給者証の有効期間の更新を申請します。
 年 月 日

703 難治性の肝炎のうち劇症肝炎 臨床調査個人票 (更新)

ふりがな			性別	1.男 2.女	生年月日	1.明治 2.大正 3.昭和 4.平成	年 月 日生	(満 歳)
住所	〒			出生都道府県		発病時在住都道府県		
初診年月日	1.昭和 2.平成	年 月 日	保険種別	1.協 2.組 3.船 4.共 5.国 6.後				
身体障害者手帳	1.あり(等級 級) 2.なし	介護認定	1.要介護(要介護度) 2.要支援 3.なし					
生活状況	社会活動 (1.就労 2.就学 3.家事労働 4.在宅療養 5.入院 6.入所 7.その他 ()) 日常生活 (1.正常 2.やや不自由であるが独力で可能 3.制限があり部分介助 4.全面介助)							
家族歴	1.あり 2.なし 3.不明 ありの場合(続柄)	受診状況 (最近6か月)	1.主に入院 2.入院と通院半々 3.主に通院 (/月) 4.往診あり 5.入院なし 6.その他()					

発症と経過 (具体的に記述)

既往歴・生活歴	初発症状 (平成 年 月 日)	昏睡Ⅱ度以上出現時 (平成 年 月 日) の所見
肝疾患 1.あり 2.なし 3.不明 B型キャリア 1.あり 2.なし 3.不明 肝以外の疾患 1.あり 2.なし 3.不明 輸血歴 1.あり 2.なし 3.不明 薬物服用 1.あり 2.なし 3.不明 飲酒 1.大酒家 2.常習飲酒家 3.機会飲酒 4.なし	発熱 1.あり 2.なし 3.不明 食欲不振 1.あり 2.なし 3.不明 全身倦怠 1.あり 2.なし 3.不明 悪心・嘔吐 1.あり 2.なし 3.不明 黄疸 1.あり 2.なし 3.不明 腹部膨満 1.あり 2.なし 3.不明 その他 1.あり 2.なし 3.不明	発熱 1.あり 2.なし 3.不明 黄疸 1.あり 2.なし 3.不明 肝濁音界縮小 1.あり 2.なし 3.不明 腹水 1.あり 2.なし 3.不明 浮腫 1.あり 2.なし 3.不明 頰脈 1.あり 2.なし 3.不明 呼吸促拍 1.あり 2.なし 3.不明 羽ばたき振戦 1.あり 2.なし 3.不明 肝性口臭 1.あり 2.なし 3.不明 痙攣 1.あり 2.なし 3.不明
画像所見	肝組織検査	
肝萎縮 1.あり 2.なし 3.不明 (1.超音波 2.CT 3.その他())	1.生検 2.剖検 3.なし (所見:)	
成因	肝炎ウイルスマーカー	免疫マーカー
1. ウイルス性 1. A型 2. B型 (1.急性感染 2.キャリア 3.不明) 3. C型 4. E型 5. その他 () 2. 自己免疫性 3. 薬物性 () 4. 成因不明 5. 評価不能	IgM-HA 1.陽性 2.陰性 3.不明 HBs抗原 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgM-HBc 1.陽性 2.陰性 3.不明 HBc(200×) 1.陽性 2.陰性 3.不明 HBV-DNA 1.陽性 2.陰性 3.不明 HCV抗体 1.陽性 2.陰性 3.不明 HCV-RNA 1.陽性 2.陰性 3.不明 HEV-RNA 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgM-HEV 1.陽性 2.陰性 3.不明	抗核抗体 1.陽性 2.陰性 3.不明 抗平滑筋 1.陽性 2.陰性 3.不明 抗LKM1 1.陽性 2.陰性 3.不明 γグロブリン 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgG 1.陽性 2.陰性 3.不明 IgE 1.陽性 2.陰性 3.不明 好酸球数 1.陽性 2.陰性 3.不明 D-LST 1.陽性 2.陰性 3.不明

	昏睡出現前	昏睡出現時	昏睡出現5日後	覚 醒 時	現 在
	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
昏睡度					
AST (IU/L)					
ALT (IU/L)					
総ビリルビン (mg/dL)					
直接ビリルビン (mg/dL)					
直接/総ビリルビン比					
プロトロンビン時間 (%)					
ヘパプラスチンテスト (%)					
ATIII (%)					
アルブミン (g/dL)					
アンモニア (μg/dL)					
AFP (ng/mL)					
HGF (ng/mL)					
血小板数 (万/mm ³)					
白血球数 (/mm ³)					
合併症	鑑別除外診断				
①感染症	1. あり 2. なし 3. 不明	①急性肝炎重症型		1. 除外できる	2. 除外できない
②消化管出血	1. あり 2. なし 3. 不明	②遅発性肝不全		1. 除外できる	2. 除外できない
③腎不全	1. あり 2. なし 3. 不明	③肝炎以外の急性肝不全		1. 除外できる	2. 除外できない
④DIC	1. あり 2. なし 3. 不明	④先行する慢性肝疾患		1. 除外できる	2. 除外できない
⑤心不全	1. あり 2. なし 3. 不明	⑤アルコール性肝炎		1. 除外できる	2. 除外できない
⑥脳浮腫	1. あり 2. なし 3. 不明				
治 療 法	使用薬剤等			治療効果	
	①ステロイド	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	②グルカゴン・インスリン	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	③特殊組成アミノ酸	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	④血漿交換	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑤血液濾過透析	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑥プロスタグランジン	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑦インターフェロン	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑧ラミブジン	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑨サイクロスポリン	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑩抗凝固療法	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
	⑪肝移植	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他		
⑫その他	1. あり 2. なし 3. 今後予定 4. 不明 ()	1. 著効 2. 効果あり 3. 不変 4. 悪化 5. その他			
医療上の問題点					
医療機関名					
医療機関所在地					
医師の氏名					
☎ 電話番号 ()					
記載年月日: 年 月 日					